

報道関係各位

厚生労働記者会・農政クラブ・環境省記者クラブ・環境記者会 御中

2025年1月7日

全国 1,978 店舗、84 万人の女性コミュニティがつなぐ 缶詰1個から始められる地域密着型のサステナブル活動 第 18 回 カーブスの「フードドライブ」が 1 月 15 日開始！

「女性だけの 30 分健康フィットネス カーブス」など運動施設を展開するカーブスジャパン（住所：東京都港区／代表：増本岳）は、全国のカーブス 1,978 店舗^{*1}において、家庭にある常温で保存できる未開封の食品を募り、児童養護施設や母子生活支援施設といった女性や子どものいらっしゃる福祉施設・団体等に寄付をする活動「フードドライブ」の食品の受付を 2025 年 1 月 15 日（水）の“フードドライブの日”を皮切りに、2 月 15 日（土）までの 1 ヶ月間行います。

^{*1}一部店舗ではお預かりのみになります。

カーブスは全国 1,978 店舗で 84 万 3 千人（2024 年 9 月末日現在）の女性会員をサポートし、「地域密着の健康インフラ」として、地方行政の健康づくり政策や地域医療機関との連携を通じて、医療や健康課題の解決に取り組んできました。また、地域密着の女性コミュニティの力を活かし、地域の人と人とのつながりや支えあいなどの社会資本（ソーシャルキャピタル）充実への貢献も図っています。

カーブスの「フードドライブ」は、こうした考えに基づき、地域に根差した店舗運営を活用した取組みの一つです。日本ではまだフードドライブの活動が盛んではなかった 2007 年に全国組織で初めて実施し、地域社会へ寄り添い、より豊かな社会の実現を目指して活動を推進してきました。フードドライブは、米国で 1960 年代に始まり、学校や企業、地域などで広く定着しています。日本でも 2019 年に食品ロス削減推進法の制定以降、自治体や事業者がこの取組みを始め、徐々に普及しています。しかし、カーブスがこの活動を始めた 2007 年当時、国内で全国組織のフードドライブ活動を行う企業・団体はありませんでした。

カーブス会員の方だけでなく、店舗近隣にお住まいの方、ボランティアや社会貢献活動に興味はあるがどこから始めてよいかかわからないといった方にも、缶詰 1 個からでも気軽にご参加いただけることから、地域密着型のサステナブルな活動として、多くの方にご参加いただいています。全国各店で集められた食品は、それぞれの店舗の方にとって身近な福祉施設や団体へ、カーブスのコーチが直接お届けしています。これまで 17 回の実施において、参加人数は累計約 208 万人、累計約 2,882 トンの食品が集まっています。



< 前回のフードドライブ実施風景 >

これからも人と地域に寄り添い、一人でも多くの方のお力になれるよう、また本来食べられるのに廃棄される食品ロス削減の一助となるべく活動してまいります。

■ 第 18 回 フードドライブ 実施概要

- 実施期間 : 2025 年 1 月 15 日（水）～2 月 15 日（土）
- 実施店舗 : 全国のカーブス店舗 1,978 店舗^{*1}（2024 年 8 月末日現在）
- 参加者 : カーブス会員、一般の方々
- 寄付内容 : 賞味期限が 2025 年 5 月 1 日以降の常温で保存できる未開封の食品
（例：缶詰やレトルト食品、お米、乾麺、調味料など）
- 寄付先 : 各地域の児童養護施設、母子生活支援施設・団体、社会福祉協議会など
- 協力 : 認定 NPO 法人セカンドハーベスト・ジャパン、一般社団法人全国フードバンク推進協議会
- 問合せ先 : 一般の方からの各種お問い合わせ、最寄り店舗のご案内は下記番号でお受けします。
フリーダイヤル 0120-441-029/平日 10 時～18 時